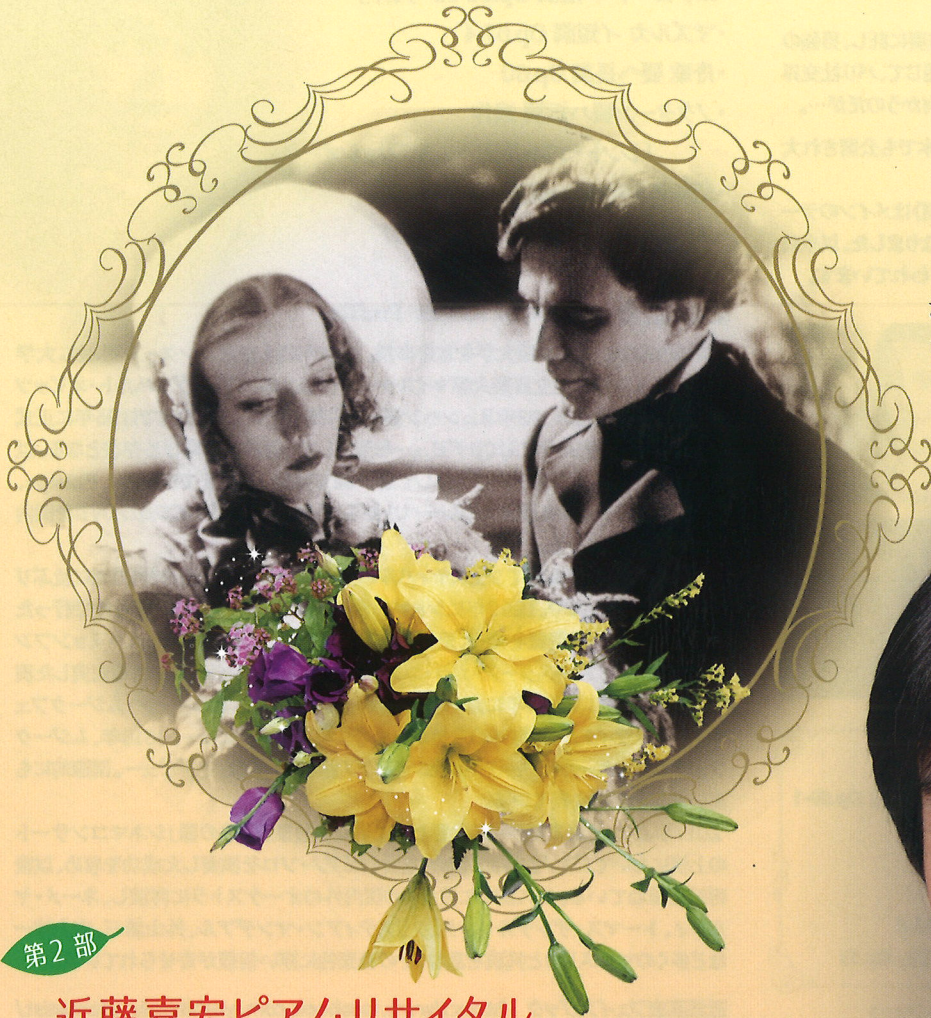


名作映画とピアノ・リサイタルで楽しむ

# 別れの曲

シネマ&リサイタル

近藤嘉宏 plays ショパン



第1部



ショパンの愛と青春を描く、音楽映画の名作  
リストとの《英雄ポロネーズ》連弾シーンは必見!

映画「別れの曲」上映 (91分)

第2部

## 近藤嘉宏ピアノ・リサイタル

《オール・ショパン・プログラム》

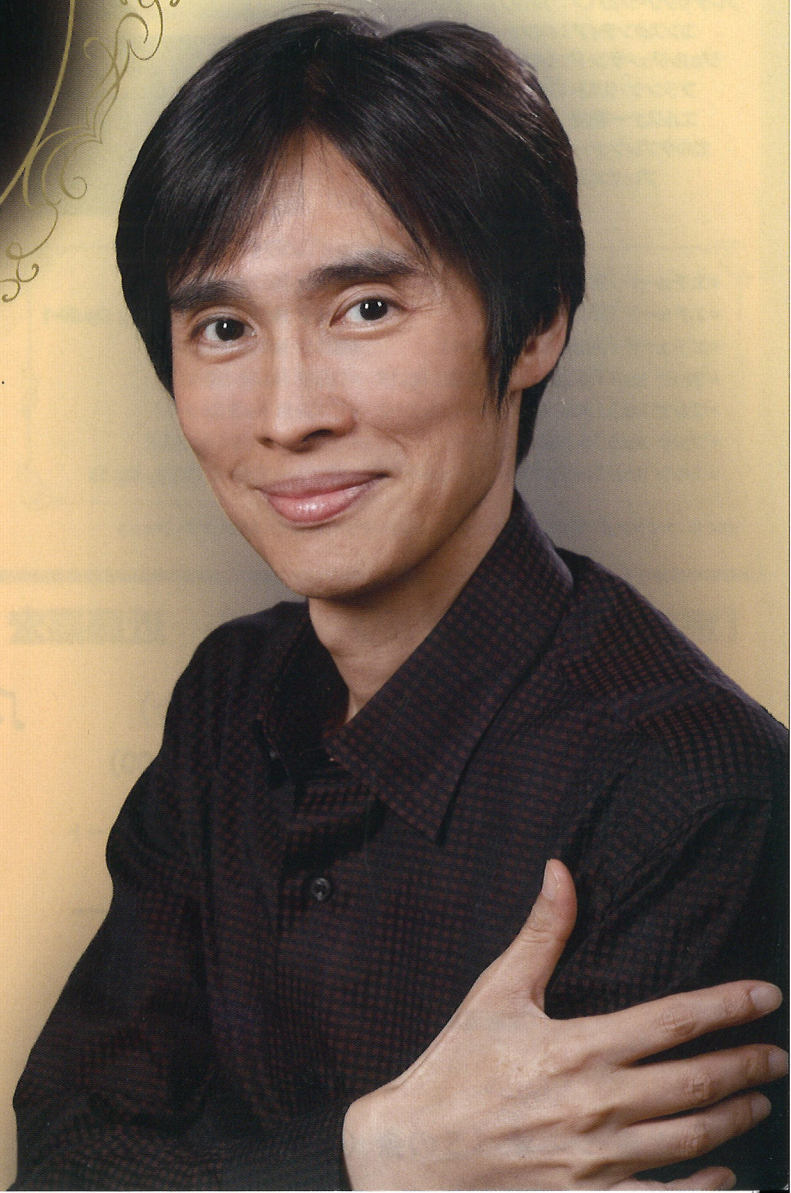
ワルツ 第3番「華麗なる円舞曲」/ワルツ 第14番 遺作

ノクターン 第8番/エチュード「別れの曲」

エチュード「エオリアンハーブ」/エチュード「大洋」

マズルカ (Op.67-4)/舟歌/ノクターン 遺作

幻想即興曲/スケルツォ 第2番



# 名作映画上映とピアノ・リサイタル、2部構成で贈るショパンへの旅

## 第1部 映画『別れの曲』上映

エチュード第3番が「別れの曲」と呼ばれる由来となった、伝説の名画！

### Story

ポーランド・ワルシャワ。デビューを果たしたばかりの若きショパンは、歌手を目指すコンスタンティアとの恋と、ロシア帝国の圧政にあえぐ自国ポーランドの独立運動に、胸を熱く昂ぶらせる青春の日々を送っていた。音楽教授エルスナーは愛弟子ショパンの才能を革命に散らせてはならないと考え、出国を渋るショパンを説得するため、コンスタンティアに力を貸してくれるように頼む。

パリへ出たショパンは、動乱に揺れる祖国への想いを自らの曲と演奏に託し、男装の人気女流作家ジョルジュ・サンドや、フランツ・リストとの出会いを通じて、パリ社交界の寵児となってゆく。一方、コンスタンティアは再会を信じてパリに向かうのだが…。

1934年に制作されたこの映画は、翌年の昭和10年(1935)に日本でも公開され大ヒットとなりました。※同年『キネマ旬報』ベストテン8位。

ショパンの名曲がふんだんに使われ、特に『エチュード第3番ホ長調』はメインのテーマ曲として使用されて涙を誘い、映画と共に人々の心に残ることとなりました。以来日本ではこの曲が『別れの曲』と広く一般に呼ばれるようになったとされています。

### Staff & Cast

監督：ゲツァ・フォン・ボルヴァー  
脚本：エルスト・マリシユカ  
撮影：ヴェルナー・ブランデス  
音楽監督：アロイス・メリヒャー

フレデリック・ショパン：ヴォルフガング・リーベンアイナー  
コンスタンティア：ハンナ・ヴァーグ  
ジョルジュ・サンド：シビル・シュミツ  
フランツ・リスト：ハンス・シュレンク  
エルスナー教授：リヒャルト・ロマノスキー  
カルクプレナー：グスタフ・ヴァルダウ  
ブレイエル：パウル・ヘンケルス



### ♪劇中で使われるショパンの作品♪

- エチュード「別れの曲」 Op.10-3
- エチュード「革命」 Op.10-12
- エチュード「木枯らし」 Op.25-11
- ワルツ No.1「華麗なる大円舞曲」 Op.18
- ワルツ No.3「華麗なる円舞曲」 Op.34-2
- ワルツ No.5「大円舞曲」 Op.42
- ワルツ No.6「小犬のワルツ」 Op.64-1
- ワルツ No.7 Op.64-2
- ワルツ No.9「別れのワルツ」 Op.69-1
- ワルツ No.13 Op.70-3
- ワルツ No.14 (遺作)
- マズルカ No.5 Op.7-1
- マズルカ No.24 Op.33-3
- ポロネーズ No.6「英雄」 Op.53

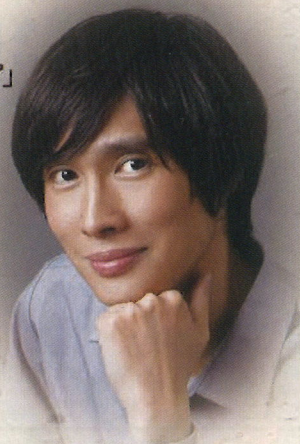
1934年 / ドイツ映画 / ドイツ語 / モノクロ / スタンダードサイズ / 91分 / 配給：アダー・ジェット

## 第2部 近藤嘉宏ピアノ・リサイタル

《オール・ショパン・プログラム》

※曲目は変更になる場合がございます

- ワルツ 第3番 イ短調 Op.34-2「華麗なる円舞曲」
- ワルツ 第14番 ホ短調 遺作
- ノクターン第8番 変ニ長調 Op.27-2
- エチュード ホ長調 Op.10-3「別れの曲」
- エチュード 変イ長調 Op.25-1「エオリアンハーブ」
- エチュード ハ短調 Op.25-12「大洋」
- マズルカ イ短調 Op.67-4
- 舟歌 嬰へ長調 Op.60
- ノクターン嬰ハ短調 遺作
- 「レント・コン・グラン・エスプレッショオーネ」
- 幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66
- スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op.31



### 近藤 嘉宏 Yoshihiko Kondo Profile

川崎市生まれ。桐朋学園大学を首席卒業。1987年日本音楽コンクール第2位。大学卒業後ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースにおいて名匠ゲルハルト・オピッツのもとで研鑽を積み、92年ミュンヘン響との共演でデビュー。国内では95年に正式にデビューし、翌96年にはCDデビューを果たして一躍注目を浴びる存在となる。以来、日本を代表するピアニストとして第一線で活躍。これまでDenon、Philips、Deccaをはじめとする数多くのレーベルから30タイトル以上のCD及びDVDを国内外でリリースしている。

1998～2008年にかけてフェスティバルホール(大阪)で行った合計20回に及ぶリサイタル・シリーズや、1999年にショパン没後150年を記念して全国各地で行った大規模なツアーは絶賛を博し、驚異的な動員数を記録。2001年ジョン・ミュンフンの主宰する「セブン・スターズ・ガラ・コンサート」に出演。海外においても充実した演奏活動を展開し、2004年にカーネギーホール、2006年にはウィーン・ムジークフェラインでリサイタルと、海外の主要ホールでも相次いでデビュー。2016年、ムジークフェライン大ホールにベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」でデビュー。国際的にも高い評価と支持を得ている。

2017年より、それまで不可能と言われていた松竹映画「砂の器」シネマコンサートの上演においてピアノ協奏曲「宿命」を含むピアノ・ソロを演奏し大成功を収め、以後再演を重ねている。これまでに数多くの国内外のオーケストラに客演し、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、クリスティアン・マンデアル、外山雄三、広上淳一など多くのマエストロと共演を重ね、その音楽性に厚い信頼が寄せられている。

近藤嘉宏フェイスブック <https://www.facebook.com/yoshihirokondopianist/>

## 「別れの曲」シネマ&リサイタル 近藤嘉宏 plays ショパン

日時 2024年11月1日(金)  
上映時間 ①12:30(開場12:00)

1部:「別れの曲」上映 2部:(14:30) ピアノコンサート

会場 枚方市総合文化芸術センター  
関西医大 小ホール  
(京阪電車 枚方市駅下車 北へ徒歩5分)

☆前売券は文化芸術センター本館1階総合受付でも販売しています。

主催 シネオペラの会(アイプランニング内)

入場料金 (全席座席指定)  
S席 5000円 A席 4500円(税込)

当日は各席500円増しとなります。

大人・小人均一料金(未就学児の入場はできません)

※売上の時は販売はいたしません。ご注意ください。

セブンイレブンでご購入の場合ぴあPコード:554022  
(6月10日発売開始)

■お問い合わせ・お申し込みは

TEL 0120-778-237(月～金 10時～16時)

\*購入後のキャンセルは不可。

〒639-0251 奈良県香芝市逢坂2-561-6 アイプランニング内